

みんなでミニバレー

集合学習

七月七日、洞爺小学校体育館で、村内四小学校と花和小学校の五・六年生、計三十六名による集合学習が行われました。

この授業は、洞爺村複式教育研究会の行事として、「同世代の児童が少ない環境のため、多人数で行う球技がなかなかできない。そこで、集合学習での球技を扱い、多人数でゲームをすることの楽しさに触



上手にレシーブできたかな

れさせ、協力、創意工夫しながら楽しくゲームを行うことを学ばせたい。」という考えで実施されました。

この日、行われたミニバレーは、六名ずつ六チームに別れ、ルールの確認、練習のあと作戦会議を行い、実際にゲームに取り組みました。児童たちは、多人数での体育授業を楽しんでいました。

また、一・二年生は、伊達海洋センター、果樹園での体験学習、三・四年生は別日程で集合学習が行われました。

雨の中フットベースボール競技

北海道障害者スポーツ大会洞爺村大会

第四十三回北海道障害者スポーツ大会の各競技が七月十日、西胆振八市町村で行われ、洞爺村では、水辺の里・財田キャンプ場運動広場での知的障害者によるフットベースボール競技が、栗山町「ハローENJOY栗山」の打守(ダ

ツシユ)、標茶町「しべちャコスモス」の川上ストライカーズ、二チームの試合と洞爺村選抜の洞爺村野球スポーツ少年団・役場職員との親善試合が行われました。

この日は、曇り空で途中から雨模様となりましたが、むらびと踊る社中の皆さんによる演舞も披露され、出場者を元気づけました。

一試合目に行われた、打守川上ストライカーズの試合では、選手、監督ともに気合が入り、一触即発?しそうな



雨の中、メダルをかけてもらう選手たち

シーンもありましたが、ランニングホームランやダブルプレーなどのファインプレーに歓声が沸きあがっていました。また、親善試合では、役場職員との試合でボールと一緒に靴を飛ばしてしまうなどの珍プレーや、野球スポーツ少年団の子どもたちとの試合を楽しんでいる様子でした。

夏の湖を満喫

レークススポーツ教室

七月十六日(土) 恒例のレークススポーツ教室が、洞爺湖畔で村教育委員会が主催して行われました。

当日は、天候に恵まれ、子ども三十二名、大人十五名が湖でのスポーツを楽しみました。

九時三十分に集合しライフジャケットをつけて、カヌーを湖畔に運ぶことから始まり、初心者にはカヌーのパドルの使い方やレークススポーツ協会の方に習い、早速、湖に漕ぎ出しました。

そのほか、バナナボートに乗ったり、船で中島に行ったり、昼食も湖畔でのジンギスカンなどで舌つづみを打ちました。

午後には、消防署の方による救命教室も行われ、午後二時三十分まで盛りだくさんの一日を楽しみました。また、虻田町からも参加者があり、自然の残る湖畔でのカヌーなどを満喫していました。



救命方法に見入るレークススポーツ教室の参加者